

岡 山 大 学 動 物 実 験 計 画 書

岡山大学長 殿

<input type="checkbox"/> 新規計画	<input type="checkbox"/> 前年度承認計画
-------------------------------	----------------------------------

提出年月日：平成 年 月 日 受付年月日：平成 年 月 日 受付番号 【 】

研究課題							
研究概要	< 目的 > ----- < 意義 > ----- < 必要性 >						
研究組織	氏名(フリガナ) e-mail @	部局名 連絡先TEL:	職名	教育訓練受講の <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無			
動物実験責任者名 (括弧内にフリガナ)	() @	部局名 連絡先TEL:		<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無			
動物実験実施者名 (括弧内にフリガナ, 選択項目を■)	() @	部局名 連絡先TEL:		<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無			
	() @	部局名 連絡先TEL:		<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無			
	() @	部局名 連絡先TEL:		<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無			
	() @	部局名 連絡先TEL:		<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無			
	() @	部局名 連絡先TEL:		<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無			
実験実施期間	承認後 ~ 平成 年 月						
飼養保管施設							実験動物の実験室での一時的保管の必要性: <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
実験室							保管期間 () (実験室で保管しなければならない具体的な理由を研究方法の欄に明示)
動物種等	動物種	系統	性別	匹数	微生物学的 品質	入手先 (導入機関名)	備考

研究 方法	
予定する使用動物数（種・系統別に記入）	
動物実験の方法（動物に加える処置，使用動物数の根拠を記入し，「想定される苦痛のカテゴリー」や「動物の苦痛軽減・排除方整合性をもたせ、記入）	
実験動物を実験室で保管する場合の理由（動物実験の方法等と整合性をもたせ、記入）	

特殊実験区分 (該当項目を全て■)	<input type="checkbox"/> 1. 感染実験 安全度分類: <input type="checkbox"/> BSL1 <input type="checkbox"/> BSL2 <input type="checkbox"/> BSL3 <input type="checkbox"/> 2. 遺伝子組換え動物使用実験 区分: <input type="checkbox"/> P1A <input type="checkbox"/> P2A <input type="checkbox"/> P3A <input type="checkbox"/> 3. 放射性同位元素・放射線使用実験 <input type="checkbox"/> 4. 化学発癌・重金属実験		
動物実験の種類 (選択項目を■)	<input type="checkbox"/> 1. 試験・研究 <input type="checkbox"/> 2. 教育・訓練 <input type="checkbox"/> 3. その他	動物実験を必要とする理由: (選択項目を■)	<input type="checkbox"/> 1. 検討したが、動物実験に替わる手段がなかった。 <input type="checkbox"/> 2. 検討した代替手段の精度が不十分だった。 <input type="checkbox"/> 3. その他 ()
想定される苦痛のカテゴリー (選択項目を■)	<input type="checkbox"/> A. 剖検により得られた組織または屠場から得られた組織を用いた実験、あるいは発育鶏卵を用いた実験。 <input type="checkbox"/> B. 脊椎動物を用い、動物に対して殆どあるいは全く不快感を与えないと思われる実験。 <input type="checkbox"/> C. 脊椎動物を用い、動物に対して軽度のストレス又は痛み(短時間持続するもの)を伴うと思われる実験。 <input type="checkbox"/> D. 脊椎動物を用い、回避できない重度のストレスまたは痛み(長時間持続するもの)を伴うと思われる実験。 <input type="checkbox"/> E. 無麻酔下の脊椎動物に、耐える限界に近い またはそれ以上の痛みを与えられると思われる実験。		
動物の苦痛軽減、排除の方法 (該当項目を全て■)	<input type="checkbox"/> 1. 短時間の保定・拘束および注射など、軽微な苦痛の範囲であり、特に処置を講ずる必要はない。 <input type="checkbox"/> 2. 麻酔薬・鎮痛薬等を使用する。 (具体的薬剤名及びその投与量・経路を記入:) <input type="checkbox"/> 3. 動物が耐えがたい痛みを伴う場合適切な時期に安楽死措置をとるなどの人道的エンドポイントを考慮する。 <input type="checkbox"/> 4. その他 (具体的に記入)		
安楽死の方法 (該当項目を全て■)	<input type="checkbox"/> 1. 麻酔薬等の使用 (具体的薬剤名及びその投与量・経路を記入:) <input type="checkbox"/> 2. 炭酸ガス <input type="checkbox"/> 3. 中枢破壊 (具体的に記入:) 法) <input type="checkbox"/> 4. 安楽死させない (その理由を記入:)		
動物死体の処理方法 (選択項目を■)	<input type="checkbox"/> 1. 外部業者に依託 <input type="checkbox"/> 2. その他 (具体的に記入:)		
その他必要事項 又は参考事項	(過去の動物実験計画書承認実績，学内の関連委員会への申請状況，飼養保管施設・実験室の承認状況などを記入)		

委員会記入欄	審査終了: 平成 年 月 日
	修正意見等
	審査結果 <input type="checkbox"/> 本実験計画は、岡山大学における動物実験規則等に適合する。 <input type="checkbox"/> 本実験計画は、岡山大学における動物実験規則等に適合しない。
学長承認欄	承認: 平成 年 月 日 本実験計画を承認します。 承認番号: 第 号 岡山大学長

実験終了時（年度末あるいは中止時）には、動物実験実施報告書の提出が必要です。

【別紙】

受付番号: 0

課題名: 0

	動物種	系統	性別	匹数	微生物学的品質	入手先 (導入機関名)	備考
動物種等							